

福井市議会議員 浦上はやと 議会報告

Uragami Hayato
NEWS
vol.7

みなさん、こんにちは！
浦上はやと
福井市議会議員の浦上逸人です。

自治体は、住民の福祉の向上と地域の持続的な発展を目指し、長期的なビジョンや具体的な施策を示す「計画」を策定します。現在、市の最上位計画である総合計画の策定作業中です。一方で、多くの計画が存在するため、その実効性や整合性などに課題もみられます。

9月議会の質問では、日々の活動の中で市民の皆様から伺ったご指摘やご提案を基に、一般質問では「計画」や「都市マスタープラン」、予算特別委員会では「避難所運営」や「カスハラ対策」などについて取り上げました。

浦上はやと議会報告 vol.7では、9月定例会などの議会活動について、ご報告します。



総合計画とは？

総合計画は、将来を見据え市政運営の今後5年間の方針を示す、本市で最も重要な計画です。

計画期間

R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	>>>
第8次 総合計画										
		第9次 策定作業			第9次 総合計画					

▲現時点

計画の構成



ご提案・ご意見募集中！

将来を見据えた総合計画の策定にあたり、市民の皆様からの市への提案などご意見を募集しています。是非、ご意見をお寄せください！
こちらのご意見フォームからご意見をお願いします▶

募集期限：令和7年12月31日まで



中面には浦上はやとが市議会での質問・提案した内容を掲載しています

主な議会スケジュール 【令和7年 9月～12月】

9月

9月定例会

- ・一般質問 ・常任委員会
- ・予算特別委員会

10月

決算委員会

県外行政視察
(常任委員会)

11月

海外姉妹都市交流

12月

12月定例会

- ・一般質問 ・常任委員会

浦上はやと 日々の活動

【令和7年 7月～9月】



市民の方々から連絡をいただいた道路の損傷などについて、補修・改修を要望しました



▲街路樹伐採



▲漏水箇所の補修



▲花月橋の補修

毎朝の『見守り活動』や『清掃活動』の他、地域行事などに参加し、市民の方からの意見・要望などをヒヤリングしています！



▲みんなの広場



▲ラジオ体操



▲育成会・夕涼み会



▲小学生への課外事業



▲大学生の議員インターンシップ



▲夏祭り



▲敬老会



▲公園の草刈り

「前向きに、丁寧に、謙虚に」をモットーに、ひとつひとつ着実に行動してまいります。
引き続き皆様からの声をお聞かせください。日々の活動は、FBなどのSNSをご覧ください！

浦上はやと事務所

〒910-0022 福井市花月5-1-42



☎ 090-9447-2951

✉ info@uragamihayato.com



浦上はやと



公式ホームページ

浦上はやと プロフィール

- 1975年生まれ 福井市花月在住
- 京都府立大学大学院 農学研究科 修了(農学修士)
- キリンビール株式会社
- 福井市役所[農政企画課→マーケット戦略室(現:商工振興課)→東京事務所]
- 早稲田大学大学院 政治学研究科 修了(公共経営修士(専門職))
※地方行政実務学会に所属し、行政学・地方自治について実践的に研究
- 家族/妻と娘2人
- 趣味/マラソン(フルマラソンで3時間切り「サブ3」を3度達成)
スポーツ観戦、読書、DIY

議会では、市民の方々から伺ってきた話を基本とし、全国の自治体の政策を調査研究した上で、『市民目線に立ち、実現して欲しい事』や『中長期的に取り組んでもらいたいこと』などを質問・提案してまいります！

9月・定例会 一般質問



1.「歩きつながるまち」の実現について

問題意識 「福井市都市マスタープラン」の理念に掲げた「歩きつながるまち」を実現していくためには、公共交通の活用や、歩いて暮らす政策をすすめていくことが必要。

KPI(重要業績評価指標)とは？

現在行っている政策が計画通りに進んでいるかを把握し、評価や改善につなげるための『数値』による指標。
例:公共交通の乗車人数(目標890万人)→実績875万人
[総合計画(R6)のKPIの1つ]

(1)実施計画とKPI

Q:「歩きつながるまち」を進めていくための実施計画を策定しないのか？

A:(都市政策部長) 現時点では、実施計画を策定する予定はない。福井市都市交通戦略、環境基本計画などを「歩きつながるまち」を進めていくための関連計画として位置づけ、各種施策に取り組んでいく。

Q:「歩行者数」をKPIに設定しないのか？

A:(都市政策部長) 「福井市立地適正化計画」で「街中の歩行者、自転車通行者数」を数値目標として設定している。関係各課と連携して、「歩くつながるまち」を進めていく。



(2)イベント開催時の公共交通の利用促進

Q:駅前電車通りで開催するイベントは、路面電車の営業運転を確保した形で開催するなど、公共交通の利用促進との連携を図るべきではないか？

A:(都市政策部長) ニーズがあるのかどうか丁寧に見極めていく。歩行者の安全性を確保するための運営上の課題についても、交通事業者やイベント主催者と連携しながら協議していく。



2.脱炭素型ライフスタイルへの転換について

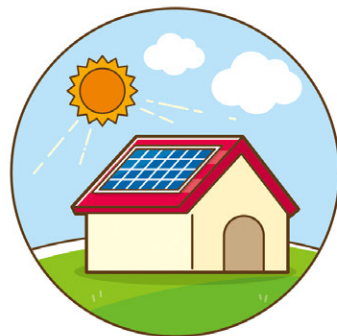
問題意識 福井市脱炭素アクションプランで、市民1人あたりの電気購入量を『2030年までに3割削減する』という目標を掲げているがその実現可能性は？

Q:太陽光発電設備等の導入補助事業についての経過と今後の予定は？

A:(市民生活部長) 今年度は昨年度より予算を増額したが、2カ月弱で募集停止となった。市民ニーズの把握と効果的な運用を図りながら、家庭での再生エネルギー導入を支援していく。

Q:各家庭の電気量を減らすために実施または検討している施策は？

A:(市民生活部長) 日常生活の工夫で二酸化炭素を減らすライフスタイルの転換についての情報発信や普及啓発など、市民と一体となって多様な取り組みを進めていく。



3.市の政策評価について

問題意識 政策がどれくらい進捗しているかについて、数字を示すことで、市民に分かりやすく説明する必要がある。また、政策の方向性は、一致させることが必要。

Q:市長ビジョンロードマップはKPIを入れるべきではないか？

A:(総務部長) 数値目標に捉われることなく、チャレンジと創意工夫を重ねながら柔軟に取り組むためKPIを設定していないが、成果報告では実績について数値で示している。今後も総合計画との整合を図りながら、わかりやすいロードマップとなるよう努めていく。

Q:下位計画にあたる既存の基本計画などのKPIも、第9次総合計画のKPIの策定方針に基づき設定すべきではないか？

A:(総務部長) 来年度末に策定予定の第9次総合計画も、KPIを策定する予定。現在の第8次総合計画では53の施策に対して64のKPIを設定し、計画全体の進行管理を行っている。第9次も第8次の課題などを踏まえて、改めてKPIを設定していく。また、下位計画についても総合計画のKPIとの整合性を図っていく。 **今後に注目!**

9月・予算特別委員会



『カスタマーハラスメント対策』について

問題意識 必要な行政サービスを実施していくためにも、妥当性を欠く要求などには組織的な対応が必要。

Q:本市におけるカスハラの実状と、カスハラ対策について。

A:(総務部長) 職員対象のアンケートでは、28%がこの1年間にカスハラを受けた事があると回答。そのうち、76%が対応分らないとの回答。カスハラ対策として、マニュアルの修正、職員への研修、名札を苗字のみに変更などを実施。

Q:庁内の電話を、音声ガイダンスと録音対応のあるものに変更するべきではないか？

A:(総務部長、建設部長) カスハラの電話が多い所属に、10台の録音可能な電話を設置済。除雪業務についてはカスハラの電話が多いことから、今年度からの音声ガイダンスや録音の電話の導入に向け、現在調整中。

今後に注目!



『避難所の運営』について

問題意識 避難所の開設や運営など、市が担う公助としての準備が不足している…

Q:当市における災害時応援協定の締結数は？

A:(危機管理監) 避難場所については、30件。食料については、7件。



(一例) 福井別院と自治会(湊1・3区)との一時避難場所の協定
＜令和7年8月締結＞

Q:当市の災害時のDX対応は？

A:(危機管理監) 職員間で写真情報などを共有できる防災情報システムを導入済。しかし、クラウドなどには対応していない。他自治体の動向を研究していく。

